学校番号	４０７

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合（実教出版）						
副教材等	家庭総合学習ノート（実教出版）　　家庭科 55 デジタル＋（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
- 生活の様々な現象や課題を実習・演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。他の人の考えや意見を知って、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけます。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させる。（知識及び技能）
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践、考察する力を培う。（思考力・表現力・判断力等）
・よりよい社会の構築に向けて、地域社会に主体的に参画しようとする姿勢と、生涯を見通して生活の課題を解決しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	食 生 活 を つ く る	人と食物のかかわり ・人は何を食べてきたのか ・日本の食文化の形成 私たちの食生活 ・“わたし”の食生活 ・ライフステージと食生活 ・日本の食卓の課題 ・食を楽しむ。 栄養と食品のかかわり ・食品の栄養素とからだの成分 ・炭水化物とその食品 ・脂質とその食品 ・たんぱく質とその食品 ・ミネラルとその食品 ・ビタミンとその食品 ・その他の食品 食品の選び方と安全 ・食品の選び方 ・食品を保存する ・食品の衛生と安全 食事の計画と調理 ・食事摂取基準と食品摂取量のめやす ・家族の食事計画 ・調理の準備から後片付けまで これからの食生活を考える ・日本の食料はどこから ・食の安全と環境への配慮	a: ・各栄養素と様々な食品について、特徴や選び方、取り扱い方、調理方法や食品衛生などを理解する。 ・家族の食事計画などライフステージに応じた食生活の構築などをはじめ、健康で安全な食生活を営むために必要な知識を身につけている。 b： ・食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見出し、その解決を目指して考え、適切に判断する力を身につけている。 ・生涯を通して健康で安全に配慮した食生活を営むために必要な栄養素・食品・調理・食品衛生等の技術を、調理実習を通して身につけている。 c： ・“わたし”の課題として、日常の食生活について分析し、摂取すべき栄養素・食品の種類や量について、改善点を見出し、具体的に改善する方法を見つけ、意欲的に実践しようとしている。	学習状況の観察 授業プリント・ノートの記述 定期考査の結果 等	学習状況の観察 授業プリント レポートの記述 調理実習・実験の取り組み 定期考査の結果 等	学習状況の観察 授業プリント・ノートの記述 調理実習・実験の取り組み 振り返り 等

2学期	子どもとかかわる	子どもとは ・子どもの誕生 ・子どもの世界 子どもの発達 ・かかわりのなかの発達 ・知的発達(認識の発達) ・身体の発育・発達 子どもの生活 ・子どもの生活習慣 ・子どもの生活管理 ・こどもと遊び 子どもをはぐくむ ・子どもを育てる意味 ・親子関係の課題 子どものための社会福祉 ・親子をとりまく環境と支援 ・子どもの権利を考えよう	a: ・妊娠や子どもの誕生、子どもの発達と保育について理解し、親としてまたは家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 ｂ： ・子どもの発達や子どもの生活、保育について、課題を見出しその解決をめざして考えたり具体策を表現したりする力が身についている。 ｃ： ・子どもの発達と生活、保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して、意欲的に学習に取り組もうとしている。	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート 定期考査の結果等	学習状況の観察 プリント レポート 定期考査の結果等	学習状況の観察 授業プリントの記述 振り返り等
	高齢者とかかわる	高齢社会に生きる ・高齢者とは ・高齢社会の現状と課題 高齢者を知る ・高齢者の心身の変化 ・高齢者の生活 ・高齢者の生活の課題解決に向けて 高齢者の自立を支える ・高齢者の生活を支える介護 ・介護の心と介護技術 高齢社会を支えるしくみ ・高齢社会を支えるしくみ ・これからの介護と課題	a: 高齢者の生活を理解し、高齢者の生活を支える介護の心と技術についての知識を得ている。 ｂ： ・高齢者の心身の変化や生活について理解し、家族・地域・社会が果たす役割について考え課題を見出す力が身についている。 ｃ： ・高齢社会の現状と課題について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に取り組もうとしている。a:	学習状況の観察 授業プリント・ノートの記述 定期考査等	学習状況の観察 授業プリント・ノートの記述 定期考査等	学習状況の観察等 授業プリント・ノートの記述 定期考査等

3 学 期	住生活をつくる	人間と住まい ・住まいの機能 ・気候風土と住まい 住まいの文化 ・住まいの移り変わり ・生活様式と住まい 住まいを計画する ・ライフステージと住まい ・生活行為と住まい ・平面図を理解する 健康に配慮した快適な室内環境 ・健康に配慮した快適な室内環境 ・住居の維持・管理 安全な住まい ・安全な住まい ・だれもが快適に住まう 持続可能な住まいづくり ・住宅政策と住まいの課題 ・これからの住まい	a: ・住まいの機能、健康に配慮するとともに安全である住環境について科学的に理解し、実践するために必要な知識を身につけている。 ｂ： ・だれもが快適に安全に健康的に住まうことができる住居や住環境について課題を見出し、その解決をめざして考え、表現する力が身についている。 ｃ： ・快適で安全、健康的な住居と住環境についてだけでなく、持続可能な住まいづくりについても関心を持ち、将来にわたってあるべき住まいの姿を意欲的に考えようとする。	学習状況の観察 授業プリント・ノートの記述 レポート 定期考査の結果等	習状況の観察 授業プリント・ノートの記述 レポート 定期考査の結果等	学習状況の観察 授業プリント・ノートの記述 振り返り等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度